

第1回天竜区協議会 地域課題

	項目及び要旨	質問者	回答課
ア	紙おむつ再生について 1 実証実験を行った後の、家庭系使用済紙おむつの回収に向けた計画について 2 紙おむつは燃料として再利用するのか	鈴木勝夫委員	一般廃棄物対策課 (連絡先 453-0011)
イ	ごみ資源化事業について 1 2024年度予算(案)にある事業費580万円の内容について 2 環境美化推進員からの意見聴取について	鈴木勝夫委員	一般廃棄物対策課 (連絡先 453-0011)
ウ	家庭ごみの有料化について 1 家庭ごみ有料化に伴う、ごみ排出量と処理費用削減予測について 2 家庭ごみ有料化に伴う、不法投棄防止対策における具体的な施策(「啓発活動」と「パトロールの強化」)その予算について 3 家庭ごみ有料化が決定してから実施するまでの期間について	海老原政彦委員	一般廃棄物対策課 (連絡先 453-0011)
エ	碾茶加工施設の増設にあたっての支援について 1 施設増設に国県の補助金交付を受ける予定だが市の補助がない。何か市の支援は受けられないか。	伊賀康司委員	農業振興課 (連絡先 457-2320)
オ	花粉症対策での杉の人工林2割伐採へ 1 杉の人工林伐採重点地域に浜松市が入るか。 2 現在の価格で伐採する林業家がいるか。 3 市はどのような協力をするか。 4 今年度より徴収される森林環境税は人工林2割伐採に充てられるか	鈴木勝夫委員 尾上直秀委員	天竜森林事務所 (連絡先 922-0031)
カ	災害復旧沿道の崩壊対策強化について 1 市は、巡視による斜面崩落危険箇所の洗い出しを強化し、崩落の影響が大きい斜面から予防工事を行うとのことだが、広い天竜区においては現行の体制で調査が間に合うか。 2 具体的に影響が大きい斜面を市民へ示す必要があると考える。 3 植林・根が崩落や土砂発生防止につながると思うがどうか。	鈴木勝夫委員	天竜土木整備事務所 (連絡先 926-2270) 農業振興課 (連絡先 457-2159)
キ	救急車の有料化について 1 救急車の年間出動件数とその内容及びここ数年の出動件数の推移 2 件数増加についての分析は。今後の見通しは。 3 有料化を検討しているか。	海老原政彦委員	天竜消防署 (連絡先 922-0119)

令和6年度第1回天竜区協議会地域課題

質問(意見)項目	ア 紙おむつ再生について
質問(意見)内容	<p>1 実証実験を行った後の、家庭系使用済紙おむつの回収に向けた計画について</p> <p>2 紙おむつは燃料として再利用するのか</p> <p style="text-align: right;">(鈴木勝夫委員)</p>
担当課 (回答)	環境部一般廃棄物対策課 (連絡先: 453-0011)
回答	<p>1 実証実験を行った後の、家庭系使用済紙おむつの回収に向けた計画について</p> <p>(1) 実証実験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年2月に浜松市と民間事業者2社による包括連携協定を締結した。 ・今後3者で使用済紙おむつのリサイクルの実証実験に向けた協議をしていく。 <p>(2) 回収実施時期 未定</p> <p>(3) 検討課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭系使用済紙おむつは年間で1万2千t程度あるものと推計。 ・処分には、相当規模のリサイクルプラント設置が前提となる。 ・プラントの設置主体や立地、関係法令の規制等、様々な検討事項について、関係者協議の上、クリアする必要がある。 <p>2 紙おむつは燃料として再利用するのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料化のほか、再生パルプなどからその他の紙製品などに水平リサイクルする可能性を検討。 ・今回、連携協定を締結した企業以外にも、今後、幅広く連携を進め、様々な再生方法について検討を進めていく。

令和6年度第1回天竜区協議会地域課題

質問(意見)項目	イ ごみ資源化事業について
質問(意見)内容	<p>1 2024年度予算(案)にある事業費580万円の内容について</p> <p>2 環境美化推進員からの意見聴取について</p> <p style="text-align: right;">(鈴木勝夫委員)</p>
担当課(回答)	環境部一般廃棄物対策課 (連絡先: 453-0011)
回答	<p>1 2024年度予算(案)にある事業費580万円の内容について</p> <p>ごみ減量キャンペーン事業</p> <p>(1) 減量目標値周知用雑がみ分別袋配布事業(3,500千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭ごみ排出量の目標値を印字した雑がみ分別袋を作成し、市民へ配布することで減量目標値を共有する。 <p>(作成部数9万枚)</p> <p>(2) インスタグラム投稿キャンペーン事業(1,106千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減量の取組を投稿した市民にインセンティブを付与し、減量実践への動機付けを行うとともに、減量の取組を市民に提供することで、市民の減量実践を後押しする。 <p>(3) みどりのリサイクルフレコンバッグ配布事業(1,210千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどりのリサイクル回収拠点への持込用に、繰り返し使用できる小型フレコンバッグ1,000個を区役所等で無料配布する。 <p>2 環境美化推進員の活用について</p> <p>会議、研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 地域の環境美化やごみ問題について、市との情報交換 イ ごみ減量やリサイクル等に関する研修 ウ ごみや清掃、環境に関する事例発表 <p>※ 上記の会議、研修会に参加いただき、市との情報交換を行い、委員からのご意見や環境美化に対する課題を把握していく。</p>

令和6年度第1回天竜区協議会地域課題

質問(意見)項目	ウ 家庭ごみの有料化について
質問(意見)内容	<p>1 家庭ごみ有料化に伴う、ごみ排出量と処理費用削減予測について</p> <p>2 家庭ごみ有料化に伴う、不法投棄防止対策における具体的な施策（「啓発活動」と「パトロールの強化」）その予算について</p> <p>3 家庭ごみ有料化が決定してから実施するまでの期間について (海老原政彦委員)</p>
担当課 (回答)	環境部一般廃棄物対策課 (連絡先: 453-0011)
回答	<p>1 家庭ごみ有料化に伴う、ごみ排出量と処理費用削減予測</p> <p>(1) 近年家庭ごみ有料化制度を実施している都市のごみ削減効果や、本市のもえるごみの組成調査におけるリサイクル可能な推計量などを参考にし、10%のごみ減量効果を得ることを目標としている。</p> <p>(2) 計画通り減量すれば、令和4年度現在の施設規模(実績)に比べ、次期の清掃工場更新時に日量58t(a)分縮小すること可能。</p> <p>(3) 近年建設された全国の清掃工場の建設単価平均は約0.79億円/t(b)であるため、ごみの減量に伴い削減可能な建設費は45.72億円(c)と推定される。</p> <p>※ (c) ÷ (a) × (b)</p> <p>2 不法投棄防止対策における具体的な施策</p> <p>(1) 家庭ごみの有料化導入に関わらず、令和5年度よりLINEチャットボットを利用した不法投棄通報システムの整備・導入を行い、不法投棄通報への庁内関係課を含めた対応体制を整える。</p> <p>(2) 従前から実施しているパトロールを強化する。</p> <p>(3) ホームページの作成及び分別収集カレンダーへの掲載など不法投棄防止の啓発活動を実施する。</p> <p>3 家庭ごみ有料化が決定してから実施するまでの期間</p> <p>(1) 実施時期 家庭ごみ有料化制度開始日は、実施を決定した時点より1年から1年半程度後。</p> <p>(2) 周知方法 実施前のこの期間に、市民の皆様にご丁寧に説明し、制度が円滑に実施できるよう周知に取り組むとともに、有料指定ごみ袋の製造や流通体制、制度の運営体制を整える。</p>

令和6年度第1回天竜区協議会地域課題

質問(意見)項目	エ 碾茶加工施設の増設にあたっての支援について
質問(意見)内容	<p>施設増設に国県の補助金交付を受ける予定だが市の補助がない。 何か市の支援は受けられないか。</p> <p style="text-align: right;">(伊賀康司委員)</p>
担当課(回答)	産業部農業振興課 (連絡先: 457-2320)
回答	<p>1 平成20年度採択事業</p> <p>■農山漁村活性化プロジェクト支援交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産漁村における定住・交流の促進 ・農林漁業者の所得向上等、農村漁村活性化に向けた取組 ・天竜区内のみを対象として申請 ・「農山漁村の一地域」に適合しており採択 <p>【補助率】1/2(国) 1/5(県または政令市)</p> <p>事業費: 129,811,500円(国64,905,000円 市25,962,000円)</p> <p>平成20年度農山漁村活性化プロジェクト支援交付要綱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県は国補助(1/2) ・制度に基づき政令指定都市は市が20%補助を実施 <p>2 令和6年3月採択事業</p> <p>■産地生産基盤パワーアップ補助金 (収益性向上タイプ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産体制の強化、産地の収益力強化に向けた取組に対して支援 ・碾茶生産面積の拡大、碾茶生産量増加、輸出向け出荷量増加 ・産地の収益力強化という目的達成の見込みあり <p>【補助率】1/2以内(国)</p> <p>事業費: 116,167,323円(国52,792,000円)</p> <p>《参考》 その他の補助事業</p> <p>□浜松市山間地域農業生産活動事業費補助金【市単独事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品評会やイベント出店経費、PR事業などのソフト事業に対する補助 <p>【補助率】1/2以内 補助上限500千円</p>

令和6年度第1回天竜区協議会地域課題

質問(意見)項目	オ 花粉症対策での杉の人工林2割伐採へ
質問(意見)内容	<p>1 杉の人工林伐採重点地域に浜松市が入るか。</p> <p>2 現在の価格で伐採する林業家がいるか。 伐採後の植林にあたり苗木業者も減少しているがどうか。 (鈴木勝夫委員)</p> <p>3 市はどのような協力をするのか。</p> <p>4 今年度より撤収される森林環境税は人工林2割伐採に充てられるか。 (尾上直秀委員)</p>
担当課(回答)	産業部林業振興課天竜森林事務所 (連絡先: 922-0031)
回答	<p>1 杉の人工林伐採重点地域に浜松市が入るか。 ・浜松市は重点地域に入っている。 (林野庁HP(「スギ花粉発生源対策推進方針」で検索可能))</p> <p>2 現在の価格で伐採する林業家がいるか。 ・近年、皆伐面積は増加傾向である。 理由 ① 皆伐に適している高齢級森林が多い ② 皆伐材の運搬経費を助成する「浜松型林齢平準化促進事業」有り。 ・伐採後の植林にあたり苗木業者は減少傾向であるが、「静岡県山林種苗協同組合連合会」が中心に生産・販売を実施している。 ・連合会との連携を深め、皆伐等に関連する情報共有を行いながら、必要な苗木確保に努める。</p> <p>3 市はどのような協力をするのか。 ・国の花粉症対策事業について市には詳細な情報が入っていないが、市としても持続可能な森林整備・管理のため、可能な限り協力していく。</p> <p>4 今年度より撤収される森林環境税は人工林2割伐採に充てられるか。 ・令和6年度当初予算では、花粉症対策事業としては予算措置はない。 ・森林環境譲与税の使途・充当先については、所管課である財政課と協議していく。</p>

令和6年度第1回天竜区協議会地域課題

質問(意見)項目	カ 災害復旧沿道の崩壊対策強化について
質問(意見)内容	<p>1 市は、巡視による斜面崩落危険箇所の洗い出しを強化し、崩落の影響が大きい斜面から予防工事を行うとのことだが、広い天竜区においては、現行の体制で調査が間に合うか。</p> <p>2 具体的に影響が大きい斜面を市民へ示す必要があると考える。</p> <p>3 植林・根が崩落や土砂発生防止に繋がると思うがどうか。</p> <p style="text-align: right;">(鈴木勝夫委員)</p>
担当課 (回答)	<p>土木部天竜土木整備事務所 (連絡先: 926-2270)</p> <p>産業部林業振興課 (連絡先: 457-2159)</p>
回答	<p>1 崩落危険箇所の洗い出し、予防工事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土木部では、国道(国管理を除く)、県道、市道の道路斜面对策を行っている。 ・近年の自然災害の激甚化・頻発化を踏まえ、更なる対策の推進が必要と認識している。 ・強化策として以下を推進している。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 職員による道路パトロール (2) 業務委託による道路防災点検 (3) 天竜建設業協会による災害危険箇所調査 (4) 市民や道路利用者からの通報や情報提供等 <p>2 具体的に影響が大きい斜面を市民へ示す必要があると考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の緊急輸送道路(幹線道路)と考えている。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 国道152号 (2) 国道362号 (3) 国道473号 (4) 緊急輸送道路が被災した場合の迂回路 ・今後も、積極的な情報発信に努める。 ・土木部が管理する道路以外の斜面(林地など)についても、本市の担当部署をはじめ、区振興課(危機管理を所管)、県など関係機関、地域との連携を図っていく。 <p>3 植林・根が崩落や土砂発生防止に繋がると思うがどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林地崩壊の防止に関し、植林・根が土砂防止に繋がるものと考えている。当課としては、適切な森林整備や林道・作業道等の適切な開設・維持管理が必要だと考えており、国・県と連携し、林地崩壊の防止に努めてまいります。

令和6年度第1回天竜区協議会地域課題

質問(意見)項目	キ 救急車の有料化について																																																																																				
質問(意見)内容	<p>1 救急車の年間出動件数とその内容及びここ数年の出動件数の推移</p> <p>2 件数増加についての分析は。今後の見通しは。</p> <p>3 有料化を検討しているか。</p> <p style="text-align: right;">(海老原政彦委員)</p>																																																																																				
担当課 (回答)	天竜消防署 (連絡先: 922-0119)																																																																																				
回答	<p>1 救急自動車による出動件数等の過去5年間の推移(2019~2023)について</p> <table border="1" data-bbox="469 533 1366 1290"> <thead> <tr> <th></th> <th>2019年 (R1)</th> <th>2020年 (R2)</th> <th>2021年 (R3)</th> <th>2022年 (R4)</th> <th>2023年 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総計</td> <td>37,920</td> <td>33,472</td> <td>34,928</td> <td>41,391</td> <td>43,868</td> </tr> <tr> <td>火災</td> <td>114</td> <td>75</td> <td>124</td> <td>139</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>自然災害</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>15</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>水難</td> <td>16</td> <td>9</td> <td>20</td> <td>26</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>交通事故</td> <td>2,513</td> <td>2,137</td> <td>2,195</td> <td>2,274</td> <td>2,530</td> </tr> <tr> <td>労働災害</td> <td>437</td> <td>390</td> <td>382</td> <td>393</td> <td>408</td> </tr> <tr> <td>運動競技</td> <td>249</td> <td>143</td> <td>196</td> <td>201</td> <td>276</td> </tr> <tr> <td>一般負傷</td> <td>5,216</td> <td>4,871</td> <td>4,980</td> <td>5,693</td> <td>6,175</td> </tr> <tr> <td>加害</td> <td>98</td> <td>79</td> <td>78</td> <td>85</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>自損行為</td> <td>279</td> <td>291</td> <td>296</td> <td>308</td> <td>345</td> </tr> <tr> <td>急病</td> <td>24,432</td> <td>21,564</td> <td>22,659</td> <td>27,984</td> <td>29,304</td> </tr> <tr> <td>転院搬送</td> <td>3,682</td> <td>3,185</td> <td>3,460</td> <td>3,745</td> <td>3,877</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>884</td> <td>728</td> <td>537</td> <td>528</td> <td>695</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 件数増加の分析について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・件数増加の分析 高齢化の進展等を背景に、高齢者の搬送割合は近年60%を超えており、多い状況です。したがって、高齢者の搬送割合の増加が件数増加に繋がっていると分析しております。 ・今後の見通し 高齢化の進展とともに高齢者からの要請が増えると考えています。 救急車の要請を迷った場合、活用できる相談窓口「救急安心センター事業(＃7119)」が本年10月から県内全域で開始されるものと県から伺っております。これは県民が救急車の要請や病院受診に迷いが生じた場合に医師や看護師などから直接、助言を得られる仕組みです。 本市としましては、市民の皆様の安全と安心のため、救急車の適正利用をお願いしたく、県とともに相談窓口「救急安心センター事業(＃7119)」の広報に努めていきたいと考えております。 		2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	総計	37,920	33,472	34,928	41,391	43,868	火災	114	75	124	139	140	自然災害	0	0	1	15	3	水難	16	9	20	26	24	交通事故	2,513	2,137	2,195	2,274	2,530	労働災害	437	390	382	393	408	運動競技	249	143	196	201	276	一般負傷	5,216	4,871	4,980	5,693	6,175	加害	98	79	78	85	91	自損行為	279	291	296	308	345	急病	24,432	21,564	22,659	27,984	29,304	転院搬送	3,682	3,185	3,460	3,745	3,877	その他	884	728	537	528	695
	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)																																																																																
総計	37,920	33,472	34,928	41,391	43,868																																																																																
火災	114	75	124	139	140																																																																																
自然災害	0	0	1	15	3																																																																																
水難	16	9	20	26	24																																																																																
交通事故	2,513	2,137	2,195	2,274	2,530																																																																																
労働災害	437	390	382	393	408																																																																																
運動競技	249	143	196	201	276																																																																																
一般負傷	5,216	4,871	4,980	5,693	6,175																																																																																
加害	98	79	78	85	91																																																																																
自損行為	279	291	296	308	345																																																																																
急病	24,432	21,564	22,659	27,984	29,304																																																																																
転院搬送	3,682	3,185	3,460	3,745	3,877																																																																																
その他	884	728	537	528	695																																																																																

令和6年度第1回天竜区協議会地域課題

3 有料化の検討について

近年、本市が救急搬送した傷病者の状況は、入院を必要としない軽症よりも、入院を必要とする中等症以上の割合が高い傾向にあります。また、軽症のうち、救急搬送の必要性が低かった事案が極めて少ない状況です。

仮に救急業務の一部を有料化した場合には、生活困窮者が救急要請を躊躇するのではないかや傷病者との搬送先の選定に関するトラブルの発生等、懸念する事項が少なくありません。引き続き、救急需要が高まっていくと考えられるため、国の有識者会議等の状況をしっかりと注視してまいります。

また、消防の責務を十分果たしていくために、真に救急車を必要としている市民のためにも、救急車の適時・適切な利用の推進活動に一層力を入れてまいります。